

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第117号



題字は岸 信介先生書

2013年(平成25年) 4月20日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査特別委員会 印刷/キッショウ株式会社

http://www.town.tabuse.lg.jp/ E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



田布施中学校入学式 4月8日

この日一斉に、町内の小・中学校の入学式が挙行され、5つの小学校には131人の新生が入学し、中学校には126人の新生が入学しました。

新議会構成決まる	2P
25年度当初予算 一般会計53億9400万円	4P
委員会レポート (予算審査特別・総務文教・経済厚生)	6P
一般質問 8人の議員が町政の課題を問う	10P
議会傍聴記	19P

議長に藤山氏、副は清神氏

2月27日の臨時会で新議会構成決まる

2月27日に新しい議会構成を決める臨時会が開かれ、藤山巖議員を議長に、清神清議員を副議長に、それぞれ選出しました。

また、総務文教、経済厚生との2常任委員会、議会運営委員会、議会広報広聴調査特別委員会の構成と正副委員長の互選、さらに、一部事務組合の議員等を選びました。



総務文教委員会

副議長

清神 清

議長

藤山 巖

総務文教委員会

委員長 島中 孝

副委員長

委員

松田規久夫

高川 喜彦

石田 修一

河内 賀寿

西本 篤史

経済厚生委員会
委員長
副委員長
委員

木本 睦博

瀬石 公夫

谷村 善彦

林山 健二

國永美恵子

清神 清



経済厚生委員会

監査委員

谷村 善彦

農業委員

瀬石 公夫

議会運営委員会

委員長

副委員長

委員

清神 清

島中 孝

高川 喜彦

石田 修一

木本 睦博

瀬石 公夫



就任のあいさつ

手の届く議会目指す

議長 藤山 巖



この度、第32代の議長に選任されました。身に余る光栄でありますと同時に、その重責を痛感しております。

近年の厳しい行財政状況の下、意志決定機関としての議会は、英知を集

見方考え方を変えよう

副議長 清神 清



この度、副議長に選任され、責任の重さに身の引きしまる思いです。議会をスムーズに運営出来るよう一生懸命努める所存でございます。

物の見方、考え方は人によって様々です。

め研鑽を積みながら、町民の負託に応えていく責務があります。

故に、議員の発言を十分に尊重しながら、言論の府にふさわしい健全な運営に努めるとともに、

町民の皆様の「手の届く議会」を目指し、一層信頼される田布施町議会の構築に取り組んでまいり所存であります。

今後とも、何卒ご指導ご鞭撻の程切にお願い申し上げます。

ここに円筒形の物体があります。上から見ると丸く見え、横から見ると四角に見えます。このように角度を変えて見ることで変化が現れます。

議会も「これが良いか」と思うか、これで良いのか」と見方を変えることにより新たな発想が生まれます。時代は刻々と変化しています。時代に乗り遅れないよう、取り組まねばなりません。

一部事務組合議会 議員

周東環境衛生組合

林山 健二
瀬石 公夫

熊南総合事務組合

林山 健二
國永美恵子

田布施・平生水道企業団

木本 睦博
畠中 孝
石田 修一
松田規久夫

光地区消防組合

石田 修一

柳井地域広域水道企業団

高川 喜彦

付属機関等の委員

民生委員推薦会委員

清神 清
木本 睦博

都市計画審議会委員

谷村 善彦
石田 修一
河内 賀寿

西本 篤史
松田規久夫

環境美化対策推進協議会 委員

國永美恵子

社会教育委員

畠中 孝

高齢者保健福祉推進会議 委員

木本 睦博
瀬石 公夫

人権教育推進協議会委員

木本 睦博

交通安全対策協議会委員

藤山 巖
河内 賀寿
西本 篤史

環境審議会委員

國永美恵子
清神 清
畠中 孝

施福会理事

藤山 巖

観光協会理事

林山 健二

議会広報広聴調査 特別委員会

委員長 高川 喜彦
副委員長 木本 睦博
委員 河内 賀寿
瀬石 公夫
西本 篤史
松田規久夫



25 年度当初予算

3月定例会

一般会計は53億9,400万円 (前年比 1.0%増)

国保特別会計は医療費の大幅な増加により 1億4,036万円の増額 (前年比 7.5%増)



本 会 議 (3月7日)

25 年度当初予算

一般会計
予算総額は53億9400万円、前年度の当初予算に比べ1.0%、5100万円の増額となっています。

平成25年3月定例会は3月7日から15日間の日程で開かれました。本定例会では、町長提出議案の平成25年度当初予算5件、平成24年度補正予算5件、条例9件及びその他6件の合計25件を審議しました。なお、初日の本会議では、8人の議員が一般質問に立ち、活発な論戦が交わされました。

《歳入》

町税は、個人・法人町民税の増収等により、前年度当初予算に比べ、4102万3千円の増額となる16億7326万8千円を計上しています。
地方交付税は、前年度に比べ1200万円の減額となる19億1800万円を計上しています。
国庫支出金は、国の経済対策に係る地域の元氣臨時交付金等により、前年度より885万1千円の増額となる4億6360万4千円の計上です。
県支出金は、前年度に比べ3010万8千円の増となる4億2493万9千円を計上しています。
町債は、消防無線デジタル化整備事業や消防機庫の整備等により、前年度より1310万円の増額となる4億6980万円の計上です。

《歳出》

総務費は、退職手当負担金の算定方法が改正されたこと等により、前年度に比べ4409万2千円増額の7億4266万円の計上です。
民生費は、麻郷児童クラブ施設整備事業が完了したこと等により、前年度に比べ461万3千円減額の1億1621万3千円の計上です。
農林水産業費は、営農支援栽培機械の導入事業に係る補助や農道整備及び海岸保全事業等により、前年度に比べ7966万9千円増額の2億4284万4千円の計上です。
土木費は、町道改良事業や下水路の改修工事の減額、公営住宅の解体工事の完了等により、前年度に比べ3337万6千円の減額となる4億3837万9千円の計上です。
教育費は、麻郷小学校の周辺整備事業完了等により、前年度に比べ8568万9千円の減額となる4億9822万5千円の計上です。

【賛成多数】

特別会計

国民健康保険

療養給付費の大幅な増額が見込まれるため、前年度比で1億4035万9千円増額の20億752万2千円の計上です。

【賛成多数】

下水道事業

流域下水道処理場の負担金の増等により、昨年度に比べ2584万7千円増額となる7億9628万9千円の計上です。

【全員賛成】

介護保険

居宅介護や地域密着型サービス給付の増額が見込まれるため、前年度に比べ5662万8千円の増額となる12億7379万3千円の計上です。

【全員賛成】

後期高齢者医療

前年度比1008万2千円増額の2億2338万1千円の計上です。

【全員賛成】

24年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ208万2千円を追加し、56億5565万7千円とするものです。

《主な歳入》

法人町民税

2500万円増

国庫支出金

803万2千円減

県支出金

1138万8千円減

町債

120万円減

《主な歳出》

退職手当特別負担金

3865万円増

児童手当

1287万円減

町道補修工事費

550万円増

町道改良・橋梁改修費

2162万4千円増

麻郷小学校周辺整備

1275万6千円減

【全員賛成】

特別会計4件

いずれも事業内容確定又は見込額に伴う所用の補正です。

【全員賛成】

条例

町長等の給与等の特例に関する条例の改正

町長の給料月額15%、町長、副町長及び教育長の給料月額の10%を減額するものです。

【全員賛成】

職員の給与に関する条例の改正

国に準じて自宅に係る住宅手当の廃止等を改正するものです。

【全員賛成】

企業立地促進条例の改正

企業に対する奨励措置を平成27年度末まで継続するものです。

【全員賛成】

町有林野条例

町有林野管理事項を全面改正するものです。

【全員賛成】

道路占用料徴収条例の改正

道路法施行令等の改正に伴う条文整理です。

【全員賛成】

新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策の総合的な推進に關し、必要事項を定めるものです。

【全員賛成】

障害者自立支援審査会の委員の定数等を定める条例の改正

障害者自立支援法の改正に伴う条文整理です。

【全員賛成】

放課後児童の保育に関する条例の改正

麻郷児童クラブの位置変更に伴うものです。

【全員賛成】

使用料及び手数料条例の改正

公民館等の使用料について、町外利用者の使用料2倍規定等を規定するものです。

【賛成多数】

その他

山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更

組織する団体の数を追加し、共同処理する事務を変更するものです。

【全員賛成】

山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更

広域連合の規約を変更するものです。

【全員賛成】

工事請負契約の締結

デジタル防災行政無線施設整備工事について、太陽通信株式会社と1億9635万円で工事契約を締結するもので、工期は平成27年3月31日までです。

【全員賛成】

人事

情報公開審査会委員の委嘱及び個人情報保護審査会委員の委嘱

任期満了に伴い、中坪清氏、南一成氏、岡村明美氏、藪本知二氏及び塩田和子氏を両委員に再任するものです。

【全員賛成】

人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、清水俊澄氏を委員として再任するものです。

【全員賛成】



清水 俊澄 氏

陳情

選挙公報の条例化に関する陳情

(陳情者)

田布施町選挙公報の条例化を進める会

代表 國本 悦郎

【継続審査】



デジタル化される防災無線

予算審査特別委員会

25年度予算



予算審査特別委員会 (3月11日、12日)

防災対策などの新年度予算を慎重に審査しました

町長 「豊かで、美しいふるさとづくりに取り組む」

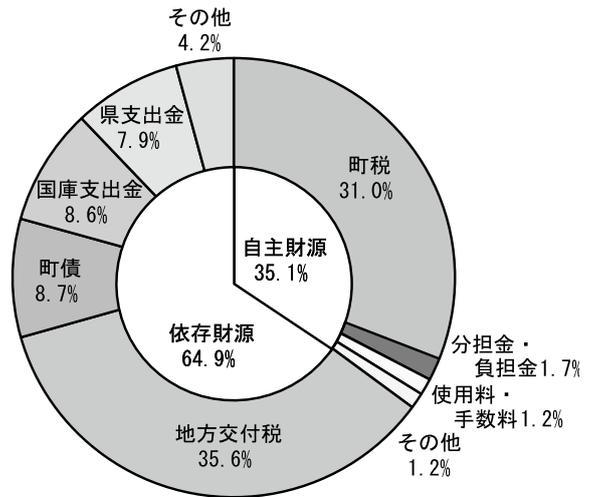
町長は、平成25年度の行財政運営について、「将来にわたり、豊かで、美しいふるさとづくりに取り組む」と述べました。

また、国保特別会計については、医療費の大幅な増額が見込まれるため、保険税の見直しは避けられないという考え方を示し、理解を求めました。

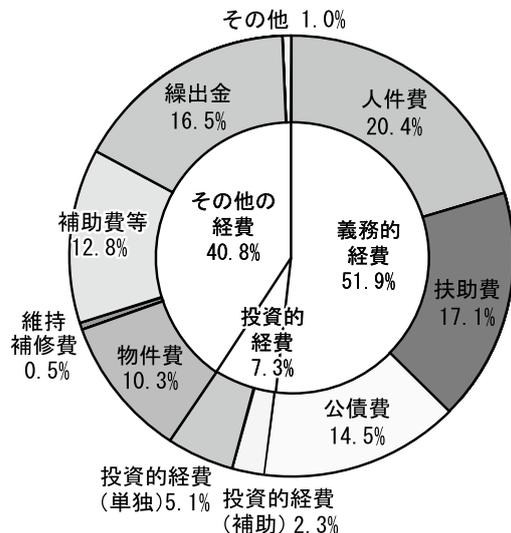
平成25年度一般会計及び各特別会計当初予算の審査を行うため、議会の議決により予算審査特別委員会が設置され、議長を除く全議員で特別委員会を構成して、3月11日、12日の2日間にわたり慎重に審査しました。

【一般会計の概要】

(万円)	
区 分	予算額
町税	167,327
分担金・負担金	8,948
使用料・手数料	6,565
その他	6,256
地方交付税	191,800
町債	46,980
国庫支出金	46,360
県支出金	42,494
その他	22,670
合計	539,400



(万円)	
区 分	予算額
人件費	109,877
扶助費	92,126
公債費	78,184
投資的経費(補助)	12,757
投資的経費(単独)	26,452
物件費	55,908
維持補修費	2,786
補助費等	69,020
繰出金	88,753
その他	3,537
合計	539,400



おもな質疑 Q&A

一般会計予算

歳入

特公賃住宅の空室に提案

Q 町営の特公賃住宅は空室があるので、一般の住宅と同じ賃料にしてはどうか。

A 条例改正すれば可能だが、現在の空室は2、3戸程度で現時点では考えていない。

介護施設開設の補助金

Q ①施設開設準備経費特別対策事業②介護基盤緊急整備特別対策事業とは。対象施設はどこか。

A いずれも介護施設を開設する際の補助金。①開設までの間にかかる人件費、備品等②施設の工事費への補助金。今回はグループホームみずきの増床により、県補助金が町を経由し支払われるもの。

歳出

埋蔵文化財の発掘調査

Q 発掘された物はどうするのか。保存期間は。

A 町や県など発掘調査した機関が整理作業等を行い、永年保存する。

発掘調査は民間委託か、町の直営とするのか。

A 発掘の作業は町の直営で行なう。

健康管理システム

Q 健康管理システムで保存されるデータはどのようなものか。

A がん検診等の個人データを保存するもの。より適切な健康指導ができる。

LED防犯灯の設置

Q 設置の要望方法は。

A 自治会連絡協議会への申請で、設置経費2万円の内1万5千円を町が補助。新設の場合は2分の1補助。電気代は自治会負担となる。

観音橋から下流の河川敷にかけて、通学路などに暗いので防犯灯を。

A 河川は県管理。県に相談しているが、新たに支柱を立てるのは難しいようなので、既存の柱に取り付ける方向で進めてい

る。

地域おこし協力隊

Q 地域おこし協力隊の備品購入費が少ないのでは。

A 地域のひとと協議し、地域で使えるものがあれば、利用させてもらい、必要に応じ予算計上する。

有害鳥獣対策

Q 有害鳥獣対策協議会での協議事項は。

A 年に1回開催し、有害鳥獣捕獲計画(期間、区域、方法)等を協議し決定する。

非構造部材の耐震

Q 点検委託料が複数課で計上されているが、同じ業者か。同じような仕事は経費が安くなるよう工夫を。

A 各課で入札するため、別業者の可能性はある。工夫していきたい。

点検への補助金は24年度と同じ割合で続くか。

A 24年度と同じ、400万円以上のもは3分の1補助が28年度まで利用できる。

不登校児童への支援員

Q 支援員の人件費は町が負担すべきでは。

A 22年度まで県補助金、23・24年度は交付金を利用、25年度から町単独となる。効果があるので続けたい。

防災対策

Q 避難場所整備事業の内容は。

A 避難所に停電時も点灯できるソーラーの街灯を設置する。24年度は城南公民館に設置したので25年度は東か麻里府地域の避難所で検討中。



ソーラー街灯 (城南公民館)

Q 非常食はどのようなもので、何年もつか。

A 水を入れるとご飯ができるものなど。2、3年期限が近づいたら、訓練等で利用する。

給食センター機械購入

Q 給食センターの機械購入の方法にリース等、多方面から検討したか。

A 検討したが、今回は補助金を利用するため、一括払で購入する。

補助金は適正か

Q 総予算の内、負担金や委託料が約30%を占める。補助金適正化条例は

活用されているか。

A 条例制定後3年に1度、チェックし、課題があるものは、見直すこととしている。

国民健康保険特別会計

Q 自己負担を2割から3割に引き上げる理由は。

A 人間ドックは町単独だが、特定検診は3分の2補助があるので、特定検診を進める。

高額医療費の増大

Q 高額医療費が毎年増え、今年度は昨年比20%以上増額だが、対策は。

A 医療技術が高度化し1件の金額が大きい場合も増えた。対策は難しい。

下水道事業特別会計

Q 田布施川流域下水道事業の建設負担金の内容と全体の事業費は。

A 汚水処理施設を1基増設する。事業の総額は約11億6千円の予定。

介護保険特別会計

Q グループホームの増床や有料老人ホームの開設の話聞く。町外から施設に入るための転入が増

えて保険料に影響するの
ではないか。
A グループホームの入所
対象者は町内の方限定。
転入者も一定期間経過し
ないと入れないと近隣市
町と決めている。有料老
人ホームは町外の方も対
象だが、住所地特例によ
り、保険者は前住所地の
自治体となる。

住所地特例とは
介護保険制度は住所地の
市町村が保険者となるが、
施設の所在地に住所を移
した場合、例外として入
所前の市町村が保険者に
なる制度。

Q 有料老人ホームでも介
護保険のサービスを利用
できるのか。
A 有料老人ホームを住居
として、介護保険の居宅
サービスを受けることが
できる。

総務文教



総務文教委員会 (3月15日)

総務文教委員会を3月15日に開き、平成24年度一般会計補正予算審査、条例の一部改正4件、その他1件、陳情1件を審査しました。

24年度一般会計補正

208万2千円増額
総額56億5565万7千
円。

Q LEDの交換とは、球
だけか機器ごとの取替え
か。
A 現在は機器ごと交換さ
れている。

Q 宝くじ助成金の使途は。
A LEDや備品等の購入
など有効に利用している。



LED 防犯灯

Q 電算のシステム改修費
の委託料は、入札して安
くできないか。
A 基幹業務は、保守があ
り困難であるが、できる
ものについては、競争入
札をしている。

Q 奨学基金の減免制度は
整備して、若者定住対策
に活用してはどうか。

A 検討する。若者定住対
策は、重要課題であり、
しっかりと取り組んでいき
たい。

【全員賛成】

町長等の給与等の特例に
関する条例の改正

Q 町長等の給与削減を引
き続いて継続する理由は
何か。
A 財政再建の一環として
実施してきたもので、私
の任期中は継続したいと
考えている。

【全員賛成】

職員の給与に関する条例の
改正

Q 退職者の再雇用により、
人件費の削減を図る考え
はないか。
A 行政としては、若い職
員の職も確保する必要が
ある。再雇用は、体制作
りも含めて検討していく。

【全員賛成】

企業立地促進条例の改正



新たに町内進出した企業
(米出工業団地)

【全員賛成】

【全員賛成】

使用料及び手数料条例の改
正

山口県市町総合事務組合
を組織する地方公共団体の
数の増加及び規約の変更

【全員賛成】

【全員賛成】

陳情書

選挙公報の条例化に関す
る陳情

【継続審査】



経済厚生委員会 (3月13日)

経済厚生

経済厚生委員会を3月13日に開き、平成24年度一般会計補正予算を予備審査、平成24年度特別会計補正予算関係4件、条例の制定及び一部改正等5件、その他1件を審査しました。

24年度

一般会計補正予算調査

208万2千円増額

総額56億5565万7千円

Q 町営住宅の特公賃に対する対策はどうか。空室による歳入の減額はいくらか。

A 2年間で400万円程度。対策は努力する。

Q 民生費の配食サービスの実績はどうか。事業の見直し予定はあるか。

A 利用者が年々減っている。宣伝不足も含めて、社協と連携して見直したい。

【全員賛成】

24年度特別会計補正予算 国民健康保険

1988万6千円増額

総額20億79万4千円

Q 被保険者は保険税が高いので、限界に達している。法定外繰入を実施している市町はあるか。

A 県東部では、岩国市、

柳井市、周防大島町が行なっている。

法定外繰入金とは自治体独自の判断により、一般会計から国保特別会計に繰り入れること。

Q 資格証、短期証の発行状況は。子ども世帯には配慮が必要と思うがどうか。

A 資格証は17世帯、短期証は103世帯。子ども世帯には短期証を交付し配慮している。

Q 減免制度は、広報等で分かりやすく住民に知らせるべき。

A 努力する。

【全員賛成】

下水道事業

720万円減額

総額7億4592万6千円

【全員賛成】

介護保険

752万1千円増額

総額12億4238万4千円

Q 一般会計繰入金の基準はどうか。

A 保険給付費の12・5%の割合。

【全員賛成】

後期高齢者医療

154万7千円増額

総額2億1484万6千円

【全員賛成】

町有林野条例

Q 林野監視員を規定しているが、何をするのか。

A 現在はいないが、将来的には置くことができるものと規定するもの。

Q 貸付料の基準は。

A 普通公有財産と同様。

【全員賛成】

道路占用料徴収条例の改正

【全員賛成】

新型インフルエンザ等対策本部条例

Q 本部設置の義務があるのか。

A 町にも設置する義務がある。

【全員賛成】

障害者自立支援審査会の委員の定数等を定める条例の改正

【全員賛成】

放課後児童の保育に関する条例の改正

【全員賛成】



小学校に整備された麻郷児童クラブ

後期高齢者医療広域連合規約の変更

【全員賛成】



3月定例会
一般質問

メガソーラー

8人の議員が

町政の課題を問う

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

町営でできないか

河内 賀寿

検討する

長信 町長



河内 賀寿 議員

Q 町内企業の大晃機械工業は、3月からメガソーラー事業開始を発表した。20年間の売電で、9年目から年5千3百万円の利益が出るようだ。本町も町営で同じようなことをしてはどうか。町民への利益還元は9年後からとしても、町民税を安

くする財源と考えると。

A 各種の試算では、10年以内の導入コスト回収は可能だ。しかし、町営でメガソーラー事業を実施する場合、広大な敷地の確保、造成等必要であり、現時点では将来にわたる町民への利益還元につい

て、確実に見通せる状況にはないと考える。今後、情報収集、検討はする。



大晃機械工業のメガソーラー (平生町)

のんびらんど・うましま

教育キャンプ復活を

河内

条件整備改善なれば可能 尾崎 教育長

Q 平成9年から16年まで、のんびらんど・うましまで、町内小学5年生の教育キャンプがあった。復活してはと質問を以前した際、世話人が十分でないとのこと。今年4月から地域おこし協力隊員2名が活動開始する。世話人の解決に有効と考えるが復活はどうか。

A 麻里府小、田布施西小は1日遠足として馬島に出かけている。のんびらんど・うましま等に宿泊する場合、大勢が集団活動する際の基本的な条件整備に不安を感じているのが現状である。これらが整備改善されれば、小中学校の宿泊学習等も可能になってくると思う。



のんびらんど・うましま

ケーブルテレビ

明確な回答を求める

松田規久夫

現状で考えはない

長信町長



松田規久夫 議員



ケーブルテレビ会社

Q 昨年、町長はケーブルテレビについて「可能性は探る、研究したい」と

回答されているが、現状ではどうか。結論を先送りして町民に期待を持たせるような回答をした事案について、強い要望も多く、明確に知らせることを提案したいと思うがどうか。

A ケーブルテレビは地元自治体が光ファイバー幹線を整備するもので、交付金なしの町単独事業で行うこととなり、町財政を考慮すれば、現状での事業の考えはない。明確な回答をしていない事案については、一定の方向性が得られた時点でお知らせしたい。

一方通行の規制変更

時代の変化に見直しも必要 松田

住民の同意があれば要望する 町長



一方通行の規制標識



規制道路（土井の内～一本松）

Q 地域活性化はいかに人を呼び込むかだと思おう。旧商店街、一本松から土井の内の一方通行は人が決めたもので、時代が変わり環境や条件が変化すれば見直しも必要だ。安全を確保しながら、一方通行の規制時間帯の変更を求める。

A 一方通行の規制は警察署の管轄であり町に権限はない。また、警察署も一方的な規制はできず、地域の同意が必要となる。沿線の商店、住民、小中学校の同意と自治会の決定があれば警察署に要望する。

国政に明るさ

町政の基本方針を問う

高川 喜彦

総合計画を推進

長信町長



高川 喜彦 議員

Q 国の政権交代があった。日本に明るさが戻ってきたとの報道があり、世論の支持も70%を超えると聞く。まさに内憂外患の中にも日本の未来の展望が開けてきている情勢といえよう。こうした時、町長は今後の町政をどのように進めて行くのか、町政の基本方針を尋ねる。

A 昨年12月の総選挙により、自民党政権と2回目の安倍政権が誕生した。再登板ということで経験もあり山口県が生んだ8人目の総理大臣としても大いに期待している。しかし、国の財政は厳しく地方自治体も厳しいが、第5次総合計画の諸事業実現に努力していく。

PM2.5

本町の対策は 高川

自動測定器 設置はしない 町長

Q 微小粒子状物質PM2.5への対策を尋ねる。この微小粒子状物質は、人の肺の奥まで入り込み、ぜんそくや気管支炎等の健康被害を引き起こす原因になるといふ。環境省はこのモニタリングを地方に要請している。本町の対応と住民の健康管理をどう考えているか。

A 北京を中心に工場のはい煙や排気ガス等の化石燃料の燃焼による微小粒子状物質PM2.5等が大規模に発生し、この大気汚染が偏西風に乗って日本に飛来している。自動測定器は柳井市、光市にあり、独自の設置は考えていない。基準値を超えた場合は情報提供する。

PM2.5 (微小粒子状物質) とは

大気中に浮遊する2.5 μm (マイクロメートル) 以下の小さな粒子のこと。PM2.5は非常に小さいため(髪の毛の太さの1/30程度)、肺の奥深くまで入りやすく、肺がん、呼吸系に加え、循環器系への影響も懸念されています。県のホームページで県内19地点(近隣では柳井市役所、光高校)の1時間ごとの測定値(速報値)が確認できます。

町民の税と社会保障費 負担率を問う

高川

年収300万円の世帯では、

負担率は31.33% 町長

Q 標準的なケース(後期高齢者のいる場合を想定)では、町県民税、所得税、固定資産税等の負担と国保税、介護保険料、後期高齢者保険料等の負担割合の合計は、現状で、負担率はいくらになるか。「住みよいまち」を標榜する本町の住民負担率も大切と考える。

A 国民健康保険・国民年金加入者で固定資産は償却資産を除いた平均税額とし、3パターンで算出した。年収300万円の世帯では負担率は31.33%、年収500万円では27.62%、年収700万円の世帯では、27.96%となる。

■租税・社会保障費の町民負担率 (試算)

- (試算条件)
・夫婦と子供2人(13歳と17歳)の世帯
・固定資産税の税額は償却資産を除いた平均税額
・国民健康保険と国民年金に加入

Table with columns for Income (300万, 500万, 700万) and rows for Tax Burden (Income Tax, Resident Tax, Property Tax) and Social Security Burden (National Health Insurance, Pension, etc.).

※ 負担率については、一定条件を設定した上での試算です。

◎その他の質問 再び「いじめ」の定義と対応を問う

我がまちスポーツ

本町の取り組みは

木本 睦博

ウォーキング実施

長信 町長



木本 睦博 議員

Q「我がまちスポーツ」は山口国体の成果を一過性にしないように地元開

催競技を基本に県が補助金を1/2出し、各市町に対しスポーツ振興をは

かる目的で3年計画で実施される事業である。本町はこの事業に対し今後どのような取り組みをするのか尋ねる。

A本町においては、町民の健康維持と増進を目的としながら「たぶせスポーツまつり」との関連性や山口国体で活躍いただいたボランティア団体等との連携を生かし、ウォーキングを「我がまちスポーツ」とし教育委員会と連携して取り組み、町民の健康増進を図りたい。



町ウォーキング講習会 (西田布施公民館)

埋蔵文化財発掘作業

発掘状況は

木本

多くの遺物発掘

尾崎教育長



発掘作業のようす (平井遺跡)

Qほ場整備の前段階として山口県埋蔵文化財センターの指揮のもと、波野地区の木地で三反地、堀川、平井の3遺跡で埋蔵文化財の発掘作業が実施されている。発掘作業には1反当たり1千万円の事業費がかかっている。

A堀川遺跡では、鎌倉、室町時代の集落跡、土器等が、平井遺跡では、縄文初期の槍の穂先、土器古墳、奈良、平安時代の、竪穴式建物確認された。三反地遺跡では、弥生時代から中世にかけての集落跡、石鏃、古墳時代の土師器や須恵器等が発掘された。

ほ場整備

工事が遅れている

木本

期間内に完了予定

町長

Q当初、平成19年着手予定の国営ほ場整備事業が平成23年着工となった。総事業費は112億円、7年計画の大事業である。しかし予算の減額により、工事着工が2年近く遅れている。

A平成23年9月に南周防農地整備事務所が開設され、町内11の換地区で



葛岡瓜迫団地のほ場

工事に向けて換地委員会を設置し、換地計画原案の作成を行なっている。地元で作成する換地原案の完了と予算との兼ね合いもあるが、今の予算規模が継続すれば計画通り平成29年完了予定だ。

国民健康保険事業

将来は

畠中 孝

財政健全化を図る

長信町長



畠中 孝 議員

国民健康保険事業の新年度予算は20億円余りとなっており、その内、町及び町民の負担額は5億5千万円である。保険料を安くしてほしいという声をよく聞く。

近い将来には超高齢化社会を迎えることになる。国民健康保険事業の将来を尋ねる。

A平成19年度まで1億円以上あった基金も平成23年度末には底をついた。5年以内には3人が一人が高齢者に



町役場の健康保険課窓口

なる。高齢者の健康寿命の延伸のため「健康増進計画」の策定に取り組んでいる。これにより医療費を抑制し、国民健康保険の財政健全化につなげたい。

部活指導

体罰を問う

畠中

根絶に向けた指導を行う

尾崎教育長



柔道部の練習 (田布施中学校)

Q昨年12月大阪府桜ノ宮

高校バスケット部の生徒が指導者の体罰が原因で自殺に追い込まれるという事件があった。その後の調査では体罰が常態化していたとのこと。

町内の学校ではどのような指導の取り方があるのか。教職員対象の「綱紀保持研修会」を行い、体罰等不祥事の根絶に向けた指導を行っている。教員と児童生徒・保護者間での信頼関係を築けるよう指導する。

計画の進行状況は

畠中

中間報告を3月末提出

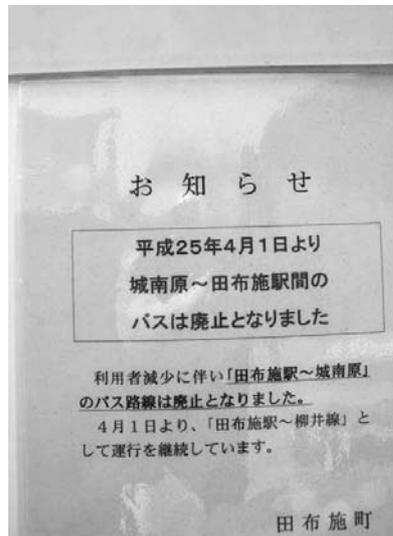
町長

Qこれまで幾度か将来の高齢者の交通手段の確保について取り上げてきた。

A路線バスの運行が次々と廃止され減少している。町では昨年これについてプロジェクトチームを立ち上げたと聞いているが、どの程度作業が進行

しているのか、また将来の計画を尋ねる。

A昨年7月、管理職で町政策調整委員会を設置した。高齢者の交通手段の確保については、昨年10月設置した「地域交通対策プロジェクト」で今年3月末まで



廃止が続く路線バス (駅前バス停)

に中間報告を政策調整委員会に提出の予定である。具体的な施策は議会とも協議し、対策を検討したい。

◎その他の質問
障害者への取り組みについて

男女共同参画

取り組みを

國永美恵子

項目設定したい

長信町長



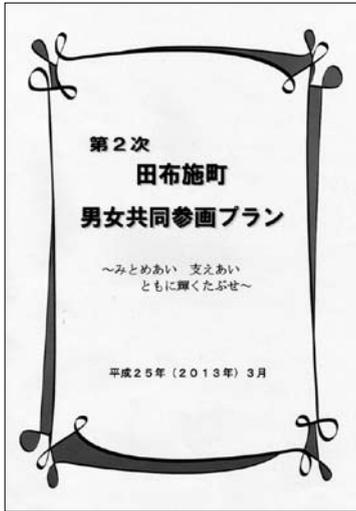
國永美恵子 議員

Q 田布施町男女共同参画プランの策定が進められている。「随より始めよ」と、町としてできることは積極的に取り組むべきと考える。

A 第2次男女共同参画プランは「みとめあい 支えあい」とともに輝くたぶ

「せ」を基本理念とする。実効性あるプランとするため、公共工事入札の参加資格審査について、参

加資格審査項目や評価項目に子育て支援や男女共同参画に関する取り組み項目を設定したい。



第2次田布施町男女共同参画プラン

子育て新システム

影響は

國 永

随時報告

町 長

Q 社会保障・税の一体改革の一環として、子ども子育て支援法等が成立した。新システムは本町にどう影響するのか。一番大切なことは、子どもたちのための保育。西田布施保育園は土石流災害警戒区域にあるが、指定区域の土地を保育園に貸してもいいのか。

A 平成26年9月までに子ども・子育て支援事業計画を策定する予定。本町への影響については、国の子ども・子育て会議で

今後検討され、具体的内容が確定すれば、随時報告できると思う。

西田布施保育園は、継続して保育の実施をお願いしたい。



西田布施保育園

PM2.5

学校の対応は

國 永

対応方法を通知した 町 長

Q 大気汚染物質PM2.5の健康への影響が住民不安となっている。環境省はPM2.5の対策指針を出した。

日常的にも注意し、対策は必要と考える。小・中学校の対策を尋ねる。子どもたちに正しい認識をもたせることも大切ではないか。

A 国・県の通知に則る対応と、県教委や庁内部局と連携を密に情報収集を

行い、小・中学校には適確な情報提供に努める。注意喚起実施の場合の学校の対応方法など、留意事項を通知し、関係者への周知を指示した。学活等で指導させるように通知したい。

◎その他の質問
奨学基金貸付条例について



家庭用のソーラーパネル

山口県再生可能エネルギー 推進指針とは

23年度末時点の2倍の73万7000kWの発電出力を目指す。東日本大震災を受けてエネルギー源を多様化する重要性が指摘されていることや地球温暖化防止の観点から、県全体で導入を促進する。骨子案では32年度末までに太陽光発電32万5000kW（23年度末比約4.4倍）風力、水力、バイオマスなど発電タイプ別に目標を定めている。

Q 現在、政策調整委員会の「再生可能エネルギー・LED化検討プロジェクトチーム」で検討している。学校施設環境改善交付金で学校発電施設は検討する。家庭用太陽光発電導入補助金は予定にない。耕作放棄地の太陽光発電は農地法もあり難しい。

Q 県が導入促進を目指す「再生可能エネルギー推進指針」について、田

布施町の取り組みはどうか、「再生可能エネルギー発電プロジェクト」を

つくり、売電収入を、家庭用太陽光導入補助金や町民、地域に還元していただくのはどうか。



放課後子ども教室で地域の人としめ縄作り
(西田布施小学校)



西本 篤史 議員

プロジェクトで検討する

長信町長

町の取り組みは

西本 篤史

再生可能エネルギー推進指針

地域協育ネット

町の取り組みは 西本

取り組みを進める

尾崎教育長

Q 「地域協育ネット」の取り組み、指導者の発掘、地域の連携、組織づくり、広報活動、啓発活動はどのようにするのか。一度町内の教育支援員、人材バンク登録者を集めて総会、講習会など行っているのか。

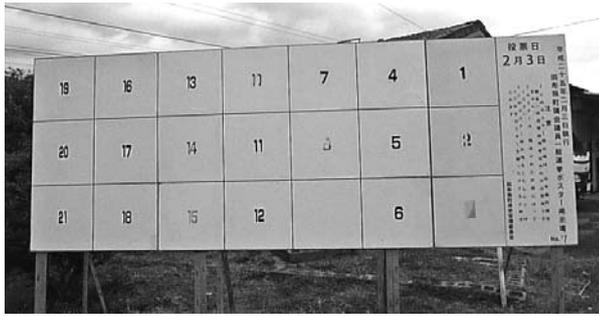
A 指導者の発掘は生涯学習人材バンク、公民館長、自治会長などを通じて探す。組織は「地域協育ネット運営委員会」とし、いずれ運営も教育委員会

山口県地域協育ネットとは

次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むことをめざし、学校・家庭・地域が連携し、学校支援、放課後子ども教室、家庭教育支援等の支援活動を効率的、組織的に推進するための住民参画による教育支援体制のこと。

事務局から専任コーディネーターに移行が理想的。広報活動はホームページ

を活用する。運営関係者で研修会を実施したい。



選挙ポスター掲示板

見直しを要望する

清神 清

選挙ポスター掲示板

杉山選挙管理委員長



清神 清 議員

Q 選挙が実施される度に住民や運動員から多くの改善策が寄せられる。
① 掲示場所が交差点内や交通量の多い車道側にある。交通安全面を考え場所の見直しを要望する。
② 設置場所の地図が古すぎる。新しい道路が出る。

麻里府小学校

統合計画はあるか 清神

住民は存続を希望

尾崎教育長



麻里府小学校

Q 麻里府小学校の全校生徒は昭和31年には183

人いたが、年を追うごとに減少し続け、現在24人となつてい

る。競争心に欠ける子どもが育つのではと心配している。麻里府小学校が完成したが、このタイミングで麻里府小学校との統合計画はあるのか。

A 平成22年度から完全複式になった。保護者会やPTA、地域との意見交換を実施した際には、小学校の存続を希望するとの意見も出た。町長は「耐震補強や建替えは行わない」と統合の検討を伝えた。今後も協議していく。

来ているが地図がない、詳細図を作つてはどうか。
A ① 岸田交差点の掲示板は庄山バイパス三宅付近に変更する。
② 今まではB4サイズであったが、今後は都市計画図に設置場所を表示してサイズも大きくする。道路網も詳細に載っており、4月の参議院補欠選挙から活用できるように進めている。

鳥獣被害

加工処理施設建設は 清神

広域整備で情報収集

長信町長



捕獲されたイノシシ

Q 昨年3月、鳥獣被害防止措置法等改正法案が出され、民主、自民、公明の3党が基本合意した。この4月から下関市豊田町に猪や鹿の肉を加工処

理する施設が共用開始となる。町長は建設については「近隣の市町と研究してみたい」と以前回答されたが、研究されたか。

A 近年、猪等野生鳥獣を地域資源として捉え、捕獲した鳥獣を食材として処理加工施設の建設がされている。捕獲数の少ない本町での単独運営は困難であるが、岩国から周南市までの5市5町での協議会で、広域整備の可能性について情報収集に努めてまいりたい。

議会だより

116号を 読んでの感想です



モニターさんとの意見交換会 (平成 24 年 7 月)

K・Kさん (60代男性)
今回の議会だよりで田布施町が、ますます高齢化が進んでいると再認識させられた。一般質問でも高齢者、生活弱者に関する質問も何件かあった。

ただ、答弁をみると「今年度中に中間報告をまとめる予定」等々、何か不安な面もある。高齢者の1日は若者の1年にも相当する。私の地域でも会合で「早くしないと自分達はこの世におらんど」とせかされる。残念なこと、それが現実となる時もある。

行政だけに頼ってもいけないが、いろいろな課題の計画立案、決定には今まで以上にスピードと決断力を持って取り組んでいただきたい。

西元 満晴さん

1月29日告示の町議会議員選挙が終わって、改めて議会だよりを読んだ。

今、町政が抱えている様々な問題に取り組む議員が、選挙期間中に公約した事を実際にどう生かし、町政に反映しているか。期間中に聞いた口当たりが良いマニフェスト

は実際には議会では通用しないものばかり。公約は実現してこそ公約ではないだろうか。そして公約通り真摯に取り組む議員こそ真の議員の姿だと思う。

この程、選ばれた議員は実績を重ねて町民の期待に応えた、本当の意味で力のある議員だと思ふ。

S・Tさん (60代女性)

リード文の中で「全議案を全員賛成で可決」と、議長・副議長さんの新年

のあいさつは期待も込めてとても清々しく感じられました。

介護入所施設での死亡等の事故に関しては、平素よりの地道な安全対策が望まれます。

また、簡潔明瞭な説明で「定例会の流れ」を再認識しました。

議員リレー随筆では、「ウリ坊」等の微笑ましい? エピソードに改めて深刻な人的・物的被害に対する危惧の念を抱きました。

ともあれ、編集後記で述べられているように、「欠落の一章」を補完すべく議員さん方のご努力に期待しております。

高田 洋二さん

前号の編集後記の最後にこの度の町議選は「欠落の一章」を補完する大切な選挙にしなければなりません、と結ばれていました。

新人議員が3名誕生しました。前回までは一般質問はいつも同じ女性議員が同じような内容を繰り返されてきて、答弁も

同じ内容の答弁となっていて大切な時間ももったいないなあと感じていました。

選挙を経て、新人も加わり、各候補が公約に掲げた内容についてどのよう

に反映されていくのか、しつかり見守りたいと思います。できれば各議員の「私の公約」の欄

(議員リレー随筆のような) 設けて紹介されたいかがでしょうか。

T・Nさん (40代女性)

この度の表紙は、新年にふさわしい消防の出初式の写真でした。カラーだともっと素敵だと感じました。

福島原発事故から早いもので2年が経過しよう

としていきます。上関原発はこれからどうなっていくのか。考えれば考える程、とても不安でたまりません。災害や事故に備え、避難訓練はとも大事なことだと思います。

一つの地域だけでなく、今後たくさんの地域でも開催できたらと思います。今年1年、「笑顔と元

田布施」を目指し、皆が今できる事を考え、取り組めたらいいなと思ひました。

Y・Hさん (60代女性)

「町議会議員に立候補しました○○です。」と、町内を選挙カーが走り回っています。

郵便受けには、候補者からのハガキが数多く届きますし、毎日のように候補者の事務所から電話がかかって来ます。知人からの紹介もあります。

今回の「議会だより」に目を通してみますと、編集後記に激しい選挙戦が展開されることや、議会の重要性が掲載されています。

重要な議会を任せる議員を選ぶ選挙です。平素から「議会だより」等を注意深く読み、田布施町議会議員に本当にふさわしい人物を見抜く目を養いたいものです。

氏名の表記については、ご本人の承諾をいただいております。



傍聴記

3月定例会の7日には多くの方が傍聴されました。その中から4人の方に傍聴記をいただきました。ご寄稿ありがとうございました。

かゆい所に手が届く

大上 幸子

税を払って全面的に町政をお願いしている立場とはいえ、広報での財政状況は町民の人口に見合ったものなのか疑問に思っていました。

しかし、T議員が身の丈に応じた財政運営かと質問された時は胸につかえていたことを代弁してもらえたようでスーッとしました。町長も財政再

建をまた訴えられたのはうれしかったし、若手議員・新議員も町民の思いを汲み取る前向きな姿勢が見られました。

今後とかゆい所に手が届く質疑をされ、足を踏む町政をお願いします。また、町政にストレスを感じる人には、議会傍聴をおすすめします。

議員を選んでからが大切

里山 賀津美

ある先輩議員が安倍総理大臣の演説の「この議場に何のために居るのか、この国を良くしたい、国民に力を尽くしたい、建設的な行動は国会議員の使命ではないか等」を引用し、「私は初心に帰り、町民の皆様と共に、笑顔と健全な町づくりを目指して町民の為に働きたい」と言われました。

私たち町民も選んで終わりではなく、お手伝いが必要なようです。お願いしなければならぬことと、できることの区別をし、町民の良いお手本となつて、働いて下さる議員と共に成長することが子供達に残せる良い習慣だと思えました。

町民の声を質問に反映

向山 あさ子

選挙後、新人議員3名が加わり新たな議会のスタートの傍聴の機会をいただきました。

議員さんの一般質問では、道路の一方通行の規制変更、ほ場整備の工事予定、サル・イノシシ被害、微小粒子状物質PM2.5対策、行政等々、私達町民1人1人の声を質問され、町長、教育長、町

職員がわかりやすく答弁されていました。

また、他議員の質疑応答中、ひたすらメモを取っておられる議員も数名いて、その姿に感銘しました。議会で田布施町が今以上に住みよい町になるよう願っています。

今後、期待すること

有清 宏見

議員の質問に答弁側が勉強不足では困る。西の保育園の位置が危ないというK議員の言われることはその通りだ。お金があるなら必要なものに使ってほしい。減税や国・県でやらないことに取り組み等。将来、車に乗れない人も出てくるので公共交通の整備やタクシーの拡大等、安全に移動できるようにお願いしたい。

不必要にお金を使って借金を増やすな。役場に頼んでもすぐ、そんなことは出来ない、お金がないと言う。これでは困る。まだまだ前に進んでいるように思えない。この4年でどこまで進むか楽しみだ。議長、副議長の仕事ぶりにかかっている。明るい町づくりをお願いします。

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【6月定例会の日程(予定)】

11日(火)	午前9時	本会議(初日) (一般質問)
13日(木)	午前9時	経済厚生委員会
17日(月)	午前9時	総務文教委員会
19日(水)	午前9時	本会議(最終日)

※正式には6月6日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

【問合せ先】
議会事務局
☎(52・5800)

仏教の国・カンボジア



松田 規久夫

うわさ話は伝われば伝わるほど違うものになっていくことが多い。伝わるには人も時間も要する。カンボジアは仏教国であり、お坊さん(僧侶)は袈裟(けさ)を着て鉢(ぼん)し、お経をあげている。日本と言葉は違うのに節回しが似ている。葬式の仕方や雰囲気も似ている。次に干支。古代の

中国で生まれ、干支が日本もカンボジアも同様である。猪と豚の違いはあるが、仏教はインドから、干支は中国から、遠くから伝わる間に別なものになっていくも良さそうなのだが、なぜ同じなのか不思議だ。違いはどこで、どうして起きるのでしようか。

議員リレー随筆

ウルトラクイズ



河内 賀寿

私は虫歯が1本もない。昔、これで得た話を1つ。昭和62年、第11回アメリカ横断ウルトラクイズ後楽園予選、22歳の私は〇×クイズで破れ敗者席にいた。のんびりしていたら敗者復活戦をすること。沸き立つ敗者席。敗者といえば、歯医者で1度も治療したことがない人出

なさい。福留アナの大きな声。約2万人参加者の中からわずか2百人ほど。私もその中の1人。敗者といえば、倒産した医者の中では歯医者か1番多い。〇か×か。私は×。正解は〇。一瞬で夢終了。でも歯のおかげで楽しい時間を味わえたことはよい思い出です。

編集後記

編集委員の抱負

議会広報は会議公開の原則に基づく大切な議会活動です。わかりやすい議会だよりをめざします。
高川 喜彦
4年ぶりに広報委員になりました。再び議会だよりが日本一になるよう頑張ります。
木本 睦博
初当選から5年目の広報委員です。全国議会広報コンクールグランプリ狙います。
河内 賀寿

長い歴史のある議会だよりを、「温故知新」の精神で一層充実した紙面にして届けたいと思います。
瀬石 公夫
3月の平均気温が過去最高。「桜さく咲早すぎて」学校の入学式は葉桜か！何事にもチャレンジ！
西本 篤史
議会だより広報委員に希望し就任した。みなさまにホットな情報を分かりやすく提供したい。
松田規久夫

視察研修の受入 山形県 朝日町

1月23日に山形県の朝日町議会の皆さんが農産物直売所(地域交流館)の視察研修に来町されました。
朝日町では果樹(主にりんご)栽培を基幹経営科目として取り組み、生産を伸ばしています。研修会では、地域交流

館の設立までの経緯や現在の運営について、説明と意見交換が行われました。
また、施設に行かれ、特産加工品を見学されました。



研修視察 (1月23日)